

平成 29 年 3 月 13 日

静岡県清水港湾交流センター等指定管理者
日の出ドリームパーク 平成 28 年度年間評価結果

静岡県清水港湾交流センター等指定管理者評価委員会
会長 関 はずみ

以下のとおり年間評価を報告する。

- 1 対象施設 日の出駐車場、日の出緑地及び遊歩道、待合所、港湾関連団体用業務室、静岡県清水港湾交流センター
- 2 評価期間 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月（実績見込みを含む）
- 3 評価日 平成 28 年 3 月 8 日（水）
- 4 評価委員

氏 名	役 職 等
◎関 はずみ	東海大学海洋学部海洋文明学科教授
和泉 清明	はずみ公認会計士事務所
河村 節子	静岡商工会議所女性会直前会長
中野 民雄	静岡文化芸術大学デザイン学部准教授
村松 正章	静岡市経済局商工部港湾担当部長

（敬称略、順不同、◎：委員長）

5 評 価

（1）総括意見

- ・年々、人の賑わいが増し、嬉しく思う。指定管理者の努力、熱心な姿勢に感謝している
- ・新たなイベント誘致などの努力の様子が伺える
- ・今後、海外客の利用が増える中、大きな地域の変化への対応を考えていく必要がある
- ・総じて、賑わい空間の創造、多様化する住民ニーズに対応していることが分かった。しかし、客船等の外国人観光客に対しては、もっと自主事業の中で工夫して欲しい

（2）評 定

評 価		点 数
良	評価できる	116.8 点 / 140 点満点 (得点率 : 83.4%)

6 項目別意見

(1) 「Ⅰ 本業務の実施体制」に関する意見

- ・ マナー違反にマニュアル等で対応しているのは、評価できる
- ・ マニュアル等が整備され、OJT等で教育を行っていることは評価できる。引き続き継続していただきたい
- ・ 外国語が話せる人員の配置を求める

(2) 「Ⅱ イベント等の実施」に関する意見

- ・ 利用件数等の増減に関しては、なぜそうなったかという分析こそが重要と思われる。数の変動そのものよりも、その理由の追及が求められる
- ・ 会議室等の利用については、稼働室等の目標を定め、目標管理をしていく必要があると考えられる
- ・ 前年比でなく、中長期的（3-5年）にイベントのデータを管理すると良い
- ・ イベント等に必要な施設整備を県側に提案するような積極性に期待する
- ・ イベント等を実施する際には目標値を持って実施し、その後、結果を検討するなどして次回の成果に繋げて欲しい

(3) 「Ⅲ 利用促進策」に関する意見

- ・ 年齢層によって効果が出る媒体が異なると思われるので、どの層をターゲットにしているのかということを考え、より効果的な情報提供ができると良い
- ・ 利用料の減免というインセンティブはあるが、地元産業界とのタイアップインセンティブを行えるとさらに利用を促せると考える（地域振興券や割引券など）

(4) 「Ⅳ 利用者ニーズの把握とフィードバック」に関する意見

- ・ 管理日誌がかなり細かく書かれており、情報共有に努めている様子が伺える
- ・ イベントを数多く実践しており、益々日の出の賑わい創出を期待できる
- ・ アンケートを実施することは評価できるが、PDCAサイクルで回さないと意味がない。リピート率を上げるために是非行って欲しい

(5) 「Ⅴ 安全管理」に関する意見

- ・ 危険箇所のリストアップなどは重要だと思うが、どこまでやれば良いのかという所が気になる。管理者責任が問題となる時代なので、予防策をとらざるを得ないが、やってもやってもキリがない気がする
- ・ 訓練は行っているが、まだ足りないと考える
- ・ 安全には念を入れて過ぎることはない。今一度安全について見直して欲しい

<参考：評点項目について>

○評点項目

項 目
総括（賑わい空間創造等）
I 本業務の実施体制
II イベント等の実施
III 利用促進策
IV 利用者ニーズの把握とフィードバック
V 安全対策

○評点基準

評点は、分野別の評点項目ごとに10点満点で採点。

評点	評 価
10	大いに事業計画以上の成果が挙げられている
∴	∴
5	概ね事業計画を達成している
∴	∴
0	事業計画が達成されていない

○4段階評価の区分

各委員の評点合計の平均点をその得点率に応じて4段階で評価。

区 分	得 点 率	摘 要
優	最高点の85%（119点）以上	大いに評価できる
良	〃 70%（98点）以上85%（119点）未満	評価できる
可	〃 50%（70点）以上70%（98点）未満	普通
要改善	〃 50%（70点）未満	改善を要する